

C-Medical 適性検査【分析結果】

出力日 2010/03/04  
 氏名 藤村 舞子  
 分類 看護部  
 配置先 2階病棟  
 職種 看護師

精神面の強さ



多少のことで動揺するほど気弱ではないが、一人に対応するような場面には不安を感じる。

就労前に感じているイメージ

心配や不安がないわけではないが、就労してからのイメージはできているようだ。今の状態でも特に問題はないが、点数の低い部分は理解しきれていない項目なので、不安を解消することが肝要である。実際とイメージにギャップがないよう確実な情報を与えたい。

この中でもっとも自信がないのは体調で、体力や精神面に不安を抱えているようだ。実際体力がないのか、それとも勤務形態などほかの面で不安を感じるためなのか、確認したい。

テクニカルスキル発揮の土台となる要素

比較的落ち着いて処置にあたるなど、現場で技術を生かしているようである。本人なりに手際の良いやり方を習得しているが、どんな場面でも確実に力を発揮するためには自分の弱点を把握させるといいだろう。また本人の努力だけでなく環境面の改善なども進めたい。

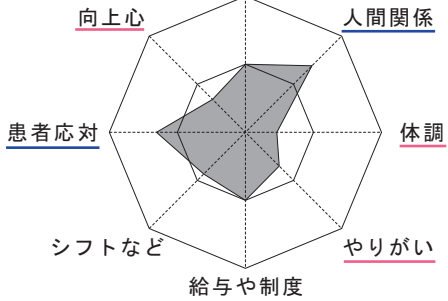
決められた手順でなく新しい方法を好む。自分らしいアイデアやユニークな発想に富み、ルールに縛られない。独創性という聞こえはいいが、職務からの逸脱には注意したい。

ヒューマンスキル発揮の土台となる要素

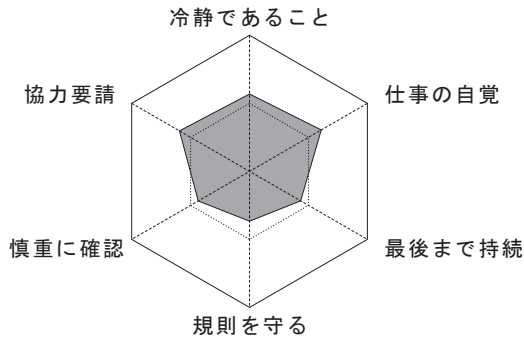
患者（利用者、その家族）との対応を敬遠することなく、ていねいにおこなっている。とはいってもの不得意な相手や場面もあるようで、苦手意識も感じられる。どのようなときに苦手と感じるのか、本人が弱点を自覚するとともに環境面の改善についても考えたい。

通常業務であれば自分で判断できるが、いつもと違う場面に合うと動揺する一面もある。判断がつかないならば相談する、応援を頼む、保留するなど臨機応変な対応が求められる。

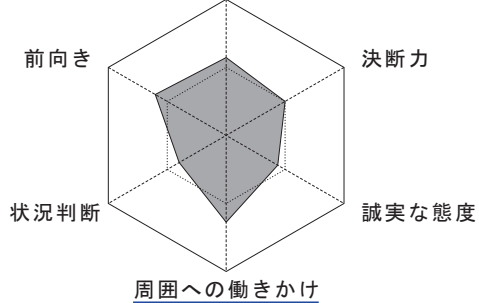
継続的意思



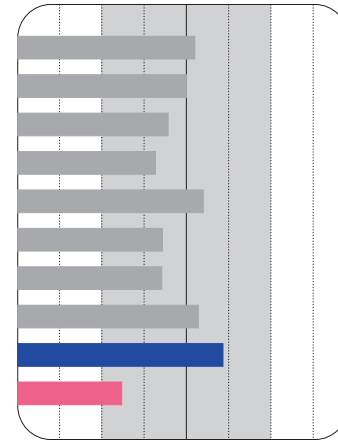
協的要請



協調性



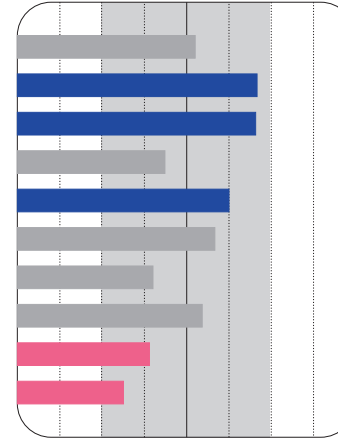
- 内閉傾向
- 客観的
- 活発性
- 気分性
- 持続傾向
- 几帳面
- 負けず嫌い
- 自尊心
- 慎重傾向
- 不安傾向



性格の特徴

確信が持てるまで行動に移さない慎重さがある。軽はずみな行動は少なく、落ち着きと信頼感がある。生活ぶりはきちんとしているが、ひとつのことに執着することもなく、状況に応じて柔軟に対応できる・常識をわきまえたよき社会人として模範的な見方をされるが、慎重であるがゆえ、問題が起こると自罰的傾向が強まる。失敗回避のために控えめな行動をとることも多く、もう少し凶太さや積極性があるとリーダーとして活躍できそうだ。

- 積極性
- 協調性
- 責任感
- 自己肯定
- 指導性
- 共感性
- 感情安定性
- 従順性
- 自主性
- 社会的満足

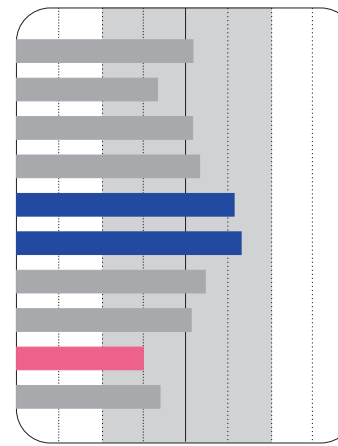


社会性から見た特徴

社会的満足が低い…  
 悩みを抱え、自分らしい生き方の方向性を模索中と思われる。離職決意も考えられる。悩みや問題の把握が先決で、本人の抱えるトラブルの解決に上司や周囲も協力してほしい。

自主性が低い…  
 先輩や専門家の意見を優先し、なるべく目立たないようにするなど消極的に見える。どうしても指示を待つことが多いが、状況や役割の理解を促し、自分で考えるよう指導したい。

- 目標達成
- 自律願望
- 知的好奇心
- 危機対応
- 活動意欲
- アピール性
- 指導者願望
- 親和志向
- 整理整頓
- 物質的欲望



意欲・欲求見た特徴

活動意欲が低い…  
 仕事を生きがいとして考えず、生活手段のひとつととらえる。とりあえずの勤務と考えている可能性もあるが、目標の持たせ方や人間関係などを工夫し、ヤル気を持たせたい。

危機対応が高い…  
 苦しくてもやり抜こうと努力し、がんばりすぎる傾向も見られる。頼りになる存在と思われるが、何事も一人に背負わせるのではなく、設定目標や状況に応じて役割分担を考えたい。